

学校だより
はす ぬま ちゅう かがみ

蓮沼中鏡

平成29年度 第14号
平成29年12月8日発行
大田区立蓮沼中学校
校長 大原章博

学校と地域との連携

毎年、年度当初に教育目標や学校経営計画を、年度末には教育活動の自己評価をホームページで公開しています。学校の課題は、学校だけでなく、家庭や地域の協力なくして解決することができないものもあります。つまり「家庭の教育力」や「地域の教育力」が重要なのです。そのためには、学校と地域が連携して生徒の健全育成や理想の学校づくりを行っていかなくてはならないと思っています。

☆地域教育連絡協議会☆

学校では、教育活動について生徒や保護者へのアンケートを実施し、その内容を受けて自己評価を実施します。さらにその自己評価をこの地域教育連絡協議会が評価します。これを学校関係者評価といって、公開しています。

地域教育連絡協議会は、校長・副校長・主幹教諭と地域の代表の方々などで構成されています。地域の方は、町会長・青少年委員・民生児童委員・保護司・PTA役員及びそのOBの方などです。会議は、年に3回開催しています。学校がより良い方向へと進んでいくために、第1回は学校の重点目標などについて、第2回は中間報告、第3回は交流給食と学校関係者評価という形で行っています。

☆防災拠点 防災訓練☆

11月26日(日)、防災拠点としての防災訓練を行いました。本校は、徳持北町会の防災拠点として位置付けられています。大きな災害が発生したときには、本校がその防災のための拠点として運営されます。寝所の確保や、けが人の救急処置、炊き出し、食料の提供などを行います。

そこでの戦力として中学生の活動が期待されています。この日は、担架を組立、けが人を運搬することや炊き出し、受付の手伝いなどを行いました。



☆小学生学校見学会☆

11月28日(火)、徳持小学校とおなづか小学校の6年生を本校に迎えて、「小学生学校見学・学校紹介」を行いました。午前中の「夢・未来プロジェクト」に引き続いてだけあって、イベント盛りだくさんの1日となりました。

この行事は、おた教育振興プランの学力向上アクションプランの中にある小中一貫による教育の視点に立った学習指導の工夫の一つとして行っています。まず、小学生が体育館に集合し、クラスごとに学校見学をしてもらい、授業を受けている中学生の姿を見ます。その後、生徒会役員によるパワーポイントを使った学校紹介に参加するという形で行っています。さらに、1月には小学生が中学校の授業を体験します。

このような取組で、地域の学校としての意識を小中学生の時から身につけていくと、やがて社会人になってからの地域に対する愛着に繋がり、地域の大きな力となってくれるものと思っています。

留学生が先生

11月24日(金)に留学生として来日し、大学院等で学問に励んでいる方を本校に招いて、オリンピック・パラリンピック教育(国際理解教育)の一環として「留学生が先生」を1年生とI組で行いました。

今回は、金 ミエロ先生(韓国)、ベヤード コーリー先生(アメリカ)、パニティ アッシュアラリット先生(タイ)、アマガラン オドンゴ先生(モンゴル)の4名でした。生徒は、事前に英語の授業でそれぞれの国のことについて調べ学習を行い、当日を迎えました。1年生の各教室では、留学生の先生がそれぞれ工夫をこらして自国の文化について生徒が飽きないように教えてくださいました。これでまた一步、国際理解が深まったことと思います。生徒にとっては、貴重な時間となりました。



夢・未来プロジェクト

11月28日(火)は本校にリオパラリンピック陸上競技日本代表選手(100m、走り幅跳び)の高田 千明先生を講師としてお招きして、講演・模範演技・実技指導を行っていただきました。さらに、パートナーとして同行してくれた大森 盛一先生もオリンピックで、400m×4リレーの日本記録保持者という素晴らしい方でした。

高田選手は、大田区出身で先天性の弱視でありながら、幼いころから走るのが好きで陸上の選手として健常者の大会にも出場していました。しかし、徐々に視力が低下して18歳の頃に全盲となりました。その後、21歳で視覚障害陸上競技を本格的に始め、2016年2月にはT11(全盲クラス)走り幅跳びで4m41cmで当時の日本記録を樹立し、同年9月のリオパラリンピックでは自身の持つ記録を更新して8位入賞を果たしました。さらに2017年7月に開催された世界パラ陸上ロンドン大会では、日本新記録で銀メダルに輝いています。このような記録を持つ選手をお招きすることができて本当にうれしく思っています。

貴重なお話をお二人から聞くことができ、盲目で走ることの恐怖や、伴走者の大切さなどを体験できたことは、生徒にとって将来の目標や夢に向かっていく活力や意欲につながったと思っています。中でも「人との出会い」「思い続ける」「諦めずにコツコツと努力する」「できることから始める」「失敗することも必要である」などは、中学生にとって大切なこととして強く印象に残ったと思います。そして、「克己心」と「折れない心」をもって(control)何事にもchallengeし、continueすることが必要だと強く思いました。

保護者の皆様へ

体罰等実態調査についてのお知らせ

これまで学校としては、保護者の皆様の御協力を得て、安全で安心できる学校生活づくりに取り組んできています。

今回も、学校として、体罰や暴力のない学校生活づくりを目指し、生徒には常日ごろから「暴力はいけないこと」と話してきています。各学級では、暴力行為等についてのアンケート調査を行いました。

各家庭においても、お子様の声に耳を傾けたり、学校生活における出来事などについて話し合う機会をもったりするとともに、人を大切にすることや暴力はいけないということについて御確認の上、何かお子様について心配なことがあれば、いつでも、どんなことでも学校に御相談くださるよう改めてお願いします。

生徒の活躍

平成29年度 炎天寺一茶まつり全国小中学生俳句大会…入選(10星) 11/23